

大人になる学校

満20歳になれば成人となり、多くの新成人が成人式に参加します。これが、今まで当たり前のように行われてきたことです。今年で言えば、1月10日が「成人の日」でした。福島市では、その前日の1月9日に成人式を開催しました。会場は、福島トヨタクラウンアリーナ（福島市国体記念体育館）です。コロナ対策として、午前の部と午後の部に分かれて、席の間隔も十分にとって行われました。

この成人年齢が、大きく変わります。これからは、満20歳で成人ではなく満18歳で成人となります。ということは、高校3年生のときに成人を迎えることとなります。4月生まれの生徒から順に成人していくこととなります。

すでに選挙権は18歳になっています。18歳になれば、選挙に行くのです。成人として“大人”と見なされるようになるのです。中学3年生で言えば、あと3年後です。あと3年もすれば、社会の中で大人として考え、行動していかなければならなくなります。

そう考えると、少し焦（あせ）りませんか。その準備はできていますか。18歳で成人となると、携帯電話の契約（けいやく）やクレジットカードの契約、一人暮らしの部屋を借りる契約などが、親の同意がなくても可能となります。ただし、飲酒や喫煙、競馬や競輪などは、今まで通り20歳からとなります。

何か自由な感じがして、好きなようにできると思うかもしれません。実際にやってみるとわかりますが、一人で考えて判断して決めるというのは、そう簡単なことではありません。契約の際には、契約書を読まなければなりません。自分で契約をするということは、自分に責任がくるといことです。

中学3年生の皆さんは、3年後に自分でできそうですか。2年生は4年後、1年生でも5年後です。すぐに18歳、すなわち成人を迎えることとなります。

中学校は大人の学校ではありません。大人になる学校です。今まで以上に、大人になる学校としての中学校の役割が大きくなるのではないのでしょうか。

成人年齢を18歳に引き下げる背景（はいけい）には、若い世代が自分で考えて決める権利を尊重（そんちょう）し、若者の社会参加を促（うなが）すねらいがあります。世の中が、皆さんのような若い人たちを求めているのです。早く大人になって活躍してほしいのです。そのためには、大人としての考えをもてるようにならなければなりません。中学校の3年間で、その土台をつくり、その練習をしていきます。中学生は、まだまだ子どもではなく、もうすぐ大人になる存在なのです。